

小学生異文化体験学習を実施しました。



ふかふかのソファでひと休み



豪華な調度品に興味津々



広い敷地を散策



英会話のレッスンを受ける児童達



先生の話に真剣に聞き入る



質問に精一杯の英語で答える



制作中も会話は英語です



飾り絵制作に取り組む児童達



テーブルマナーを意識しながらのランチ

6月11日(金)、一小の大塚克己校長を派遣団長として、一小、二小の6年生と引率、合わせて78名が、天栄村のブリティッシュ・ヒルズを訪問しました。

この事業は、例年1泊2日の行程ですが、新型コロナウイルスの影響を鑑み、プランを日帰りに変更し、ソーシャルディスタンスの徹底や、フェイスシールドの着用など感染症対策を整えての実施となりました。

出発の前日には、準備学習会が一小で開かれ、団長から「当日は積極的に楽しく取り組もう」と挨拶があり、児童達は、「一小、二小の仲間が助け合いながら活動する」「自信をもって積極的に行動する」など目標を確認し合いました。

当日、施設に到着すると外国人講師が児童達を出迎え、活動がスタートしました。初めにオリエンテーションを受けた後、講師の案内でグループ毎に館内を

見学しました。イギリス貴族の暮らしを感じさせる建物や館内の調度品などを目の前に児童達は、文化の違いを感じ、遠い異国の地へ思いを募らせていました。

その後、講師による英会話のレッスンがあり、日常の会話や、道案内のやりとりなどに真剣な表情で取り組んでいました。

昼食は、英国式のレストラン会場でテーブルマナーを意識しながら、洋食をおいしくいただきました。

午後は工作を取り入れたレッスンが行われ、講師の説明を聞き取りながら、立体的な飾り絵を制作しました。

最後に、終了のセレモニーが開かれ、一人一人に修了証が手渡されると、児童達は、「Thank you!」と大きな声で感謝の言葉を返しました。英語漬けの1日でしたが、疲れた様子も見せず、笑顔で体験学習を終えました。